

# 繊維混入けい酸カルシウム板 耐火被覆材

# ニュータイカライトR 軽鉄下地工法

## 特徴

### 耐火品質がみえる

一般的な吹付ロックウール耐火被覆材は耐火品質を担う比重や厚み等を現場管理しながら施工する必要がありますが、ニュータイカライトRは工場にて耐火品質を担う原料配合・比重・材厚が徹底管理され製造され、現場に納品されます。納品時には材料面での耐火品質は確保されています。

### 工期短縮を実現

一般的な吹付ロックウール耐火被覆工事を省略できるので、耐火被覆工事の工程を短縮する事ができます。また、乾式工法なので吹付ロックウールのように飛散養生や清掃などの手間もかかりません。

### 施工性の向上

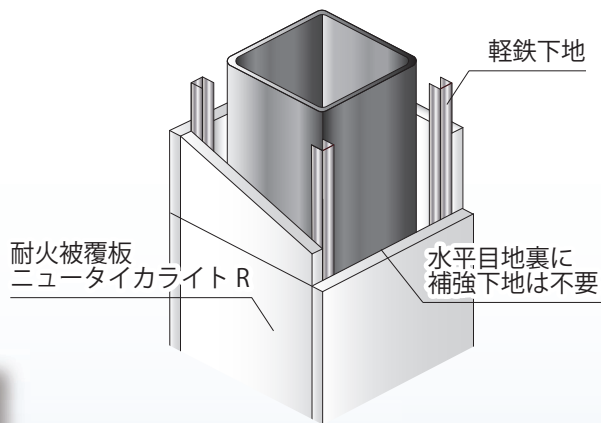
本認定はケイカル板目地部の裏側に補強金物は不要です。その為、強化石膏ボードの耐火被覆認定工法と比べて、軽鉄下地工事の制限が少なく施工しやすい工法となっています。また、けい酸カルシウム板の製品の比重（2号品の場合0.25）は強化石膏ボードの約1/3と軽く加工もしやすいのでより作業効率が上がります。

### コンパクトな仕上がりを実現

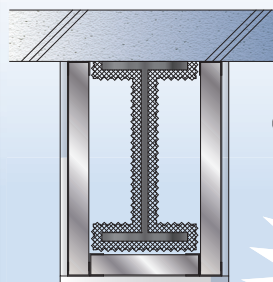
吹付ロックウールを省略できるので、柱梁の仕上がりサイズを小さくする事ができます。軽鉄下地の取付方法によっては更にコンパクトに納める事が可能です。石膏ボードを上張りする事も可能です。  
※軽鉄下地の取付方法に関しては別途、標準施工手順書をご確認ください。

### 柱梁として材料ロスが少なく環境に優しい

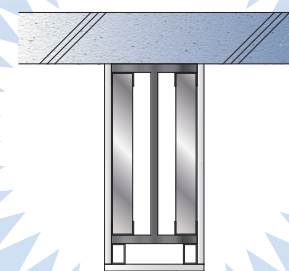
一般的な柱梁の仕上げサイズに適した製品規格なので、現場での廃材を減らす事で環境負荷を低減できます。また、アスベストやフロン、ホルムアルデヒドやその他のVOCなどは含まれておりませんので安心してご利用いただけます。



(一般工法) 吹付 RW 耐火被覆材の場合



ニュータイカライトR 軽鉄下地工法の場合



※上記納まりは一例です

### 標準物性

製品名	かさ密度 [g/cm <sup>3</sup> ]	曲げ強さ [N/mm <sup>2</sup> ]	JIS A 5430分類
ニュータイカライトR 1号	0.35	2.0	0.5TK
ニュータイカライトR 2号	0.25	0.5	0.2TK

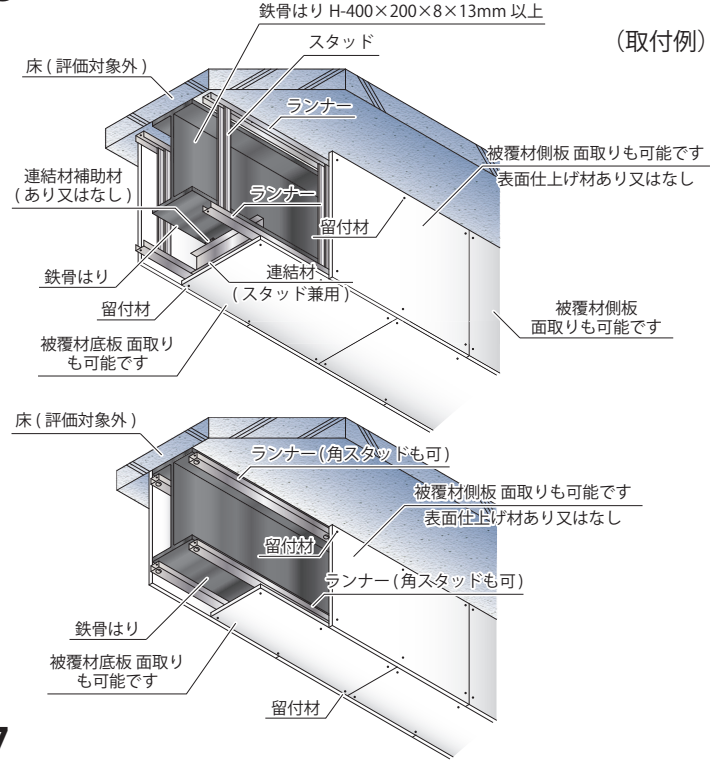
### 当社標準サイズ

製品名	厚さ [mm]	当社標準サイズ [mm]	
ニュータイカライトR 1号	15 20 25 30 35	610×1000	910×1000
		1220×1000	1525×1000
ニュータイカライトR 2号	15 20 25 30 35 40	1830×1000	

※ 当社標準サイズは常時の在庫品ではありませんので在庫状況につきましては、当社営業担当者までお問い合わせください。また標準サイズ以外のご希望がある場合におきましても当社営業担当者までお問い合わせください。

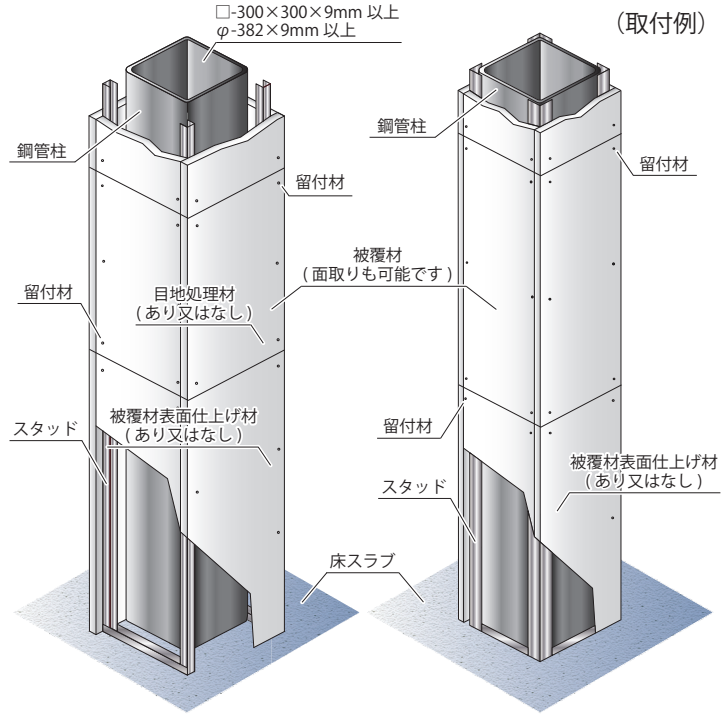
# 梁 1H耐火 施工説明図 FP060BM-0703

主要構成材料	
被覆材	ニュータイカライト R 15mm以上 (1号品、2号品共)
使用可能な上下ランナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ -40×22×30×0.5mm以上</li> <li>□ -19×25×0.5mm以上</li> <li>□ -40×20×0.45mm以上</li> <li>└ -30×30×0.5mm以上</li> </ul>
使用可能なスタッド	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ -40×22×30×0.5mm以上</li> <li>□ -19×25×0.5mm以上</li> <li>□ -40×20×0.45mm以上</li> <li>└ -30×30×0.4mm以上</li> <li>平鋼 40×0.4mm以上</li> </ul>
耐火被覆留付け材	・タッピンねじ：胴部径φ 3.0mm×長さ 30mm以上 (@ 475以内)
上張り材 (あり又はなし)	石膏ボード (JIS A 6901) 厚さ 9.5mm以上
上張り留付け材 (あり又はなし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステーブル：幅 4mm×長さ 16mm以上 (@ 300 以内)</li> <li>・タッピンねじ：φ 3.5mm× 35mm以上</li> </ul>
表面仕上げ材 (あり又はなし)	シーラー材、及び、壁紙又は塗装(有機量468g/m <sup>2</sup> 以下) ※詳細は、標準施工手順書をご確認ください



# 柱 1H耐火 施工説明図 FP060CN-0977

主要構成材料	
被覆材	ニュータイカライト R 20mm以上 (1号品、2号品共)
上下ランナー (あり又はなし)	□ -42×30×0.5mm以上
使用可能なスタッド	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ -40×22×30×0.5mm以上</li> <li>□ -40×45×0.5mm以上</li> <li>□ -40×20×0.45mm以上</li> <li>└ -40×40×0.4mm以上</li> </ul>
水平目地補強金物 (あり又はなし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ -19×40×0.4mm以上</li> <li>□ -19×40×0.4mm以上</li> <li>□ -40×20×0.4mm以上</li> <li>└ -40×20×0.4mm以上</li> </ul>
耐火被覆留付け材	・タッピンねじ：胴部径φ 3.5mm×長さ 32mm以上 (@ 500 以内)
上張り材 (あり又はなし)	石膏ボード (JIS A 6901) 厚さ 9.5mm以上
上張り留付け材 (あり又はなし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステーブル：幅 4mm×長さ 16mm以上 (@ 300 以内)</li> <li>・タッピンねじ：φ 3.5mm× 38mm以上</li> </ul>
表面仕上げ材 (あり又はなし)	シーラー材、及び、壁紙又は塗装(有機量468g/m <sup>2</sup> 以下) ※詳細は、標準施工手順書をご確認ください



## 取扱いの注意事項

- ・屋内専用の製品であり直接雨がかかる部位では使用できません。
- ・梁型のスリーブ貫通処理に関しては営業担当者へお問い合わせください。
- ・柱型など手が触れる部位にはニュータイカライトR・1号品をご推奨します。また角欠け防止の為コーナービード等の設置をお願いします。
- ・より強度が必要な部位等においては、石膏ボードの上張りをお願いします（上張り材の有無により、認定番号が変わります）。
- ・上記の構成材料表は耐火認定における数値を記載しております。実施工時の軽鉄下地のサイズ、ピスのピッチなどは構造上の安全面を考慮して選定ください。
- ・詳細な認定条件、及び施工方法は「標準施工手順書」をご参照ください。



施工手順書はこちら



ホームページ URL  
<https://www.jic-bestork.co.jp/>

2023年4月改定版  
AF023補19-2304-ver1.1

部門・部署	電話番号	FAX 番号	部門・部署	電話番号	FAX 番号
関東支社販売グループ	03(5875)8444	03(5875)8445	関西支社販売グループ	06(6210)1282	06(6210)1283
東北営業所	022(779)6651	022(779)6652	中部営業所	052(228)8682	052(228)8683
九州営業所	092(452)8651	092(452)8671	建築営業開発部	03(5875)8531	03(5875)8551

本資料の内容は予告なく変更することがあります。なお、当社に無断で本資料を複製・転載することを禁止します。また、本資料に記載される商品は日本国市場向けのものであり、日本国以外の国で商品を使用する場合、様々な制限を受けます。